

7	課題番号	研究課題名	研究代表者	評価結果
	13852005	下部マントルの起源とダイナミクスに関する実験的研究	伊藤 英司 (岡山大学・地球物質科学研究センター・教授)	A
<p>(意見等)</p> <p>研究代表者らは 60GPa を超える超高压をマルチアンビル装置で初めて発生させ、そこで精密な超高压高温実験を可能にする技術を開発し、多数の相転移関係やいくつかの熔融関係を解明した。これらは高压地球科学における多大な研究成果であり、高く評価できる。日本が国際的にリードしている分野で、さらなる進展を示す研究成果を得たといえる。なおマルチアンビル装置を用いて、この圧力領域でさらに加熱温度を上昇させ、より広範な熔融実験を可能にすることは今後の課題であろう。</p>				
8	課題番号	研究課題名	研究代表者	評価結果
	13853001	ランタン-セリウム, サマリウム-ネオジム放射壊変系による先太陽系絶対年代の研究	田中 剛 (名古屋大学・大学院環境学研究科・教授)	A
<p>(意見等)</p> <p>先太陽系物質の年齢を出せる学術レベルの達成を目標に掲げて研究を進めているが、その過程で達成された多くの独創的研究成果はいずれも高く評価されるもので、本研究は成功と判定される。特に微小試料を用いた希土類元素の分離や同位体精密分析技術の汎用性・普及性は高く、この研究分野に対する貢献は極めて大きいものと判断され、今後さらに研究の進展も期待される。</p>				